



会員・報道機関各位

## オンライン円卓会議「予算2021-インドの投資・ビジネス機会」の報告

2021年 2月 17日  
一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)  
代表理事 田嶋 伸博

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
去る2021年2月8日に駐日インド大使館主催で、オンライン円卓会議が開催され、官庁関係や、自動車メーカーが参加され、弊会からも有馬理事が登壇しましたので、ご報告致します。

### 「記」

1. 日時: 2021年 2月 8日(月)10:00~12:00
2. 場所: オンライン(Webex)



会議スタート時の画面

3. インド側登壇者
  - ・駐日インド大使 サンジェイ・クマール・ヴァルマ氏 (H.E.Mr.Sanjay Kumar Verma)
  - ・経済商務担当公使 モナ・カンダール氏 (Ms.Mona Khandhar)
4. 日本側登壇者
  - ・政府系機関
    - 国土交通省、経済産業省、外務省、内閣府、農林水産省、国際協力機構(JICA)、日本貿易振興機構(JETRO)
  - ・民間部門
    - 日本薬業貿易協会、日本プラスチック工業連盟、電気自動車普及協会、株式会社大和証券グループ本社、SMBC日興証券株式会社、豊田通商株式会社、日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、丸紅株式会社
5. 内容
  - 1) 開会の挨拶(10:00~10:10(10分))  
駐日インド大使のサンジェイ・クマール・ヴァルマ氏から開会の挨拶がありました。
  - 2) 予算の説明(10:10~10:40(30分))  
経済商務担当公使、モナ・カンダール氏からインド政府の2021年度予算説明がありました。  
(予算プレゼン資料は会員専用サイトをご覧ください)



モナ・カンダール氏

### 3) 予算に対する日本側のコメント

上記4の登壇者が各3分程度のコメントを発表し、弊会からは理事の有馬仁志が発表しました。  
有馬理事からは、APEVの活動内容紹介に簡単に触れた他、インドに関わる点として下記事項に言及しました。

- ・カーボンニュートラルについて、日本は2050年という目標を宣言したが、インドは現在非公開としている
- ・インドには、非電化地域ありと聞いている  
対応策として、太陽光や風力発電とEVを組み合わせ、独立電源を持つスマートハウス(公共)を建てEVはシェアリング方式とする。そうすることで、CO2の排出低減にも寄与できる。  
(有馬理事の説明資料は、会員専用サイトをご覧ください)

2050年カーボンニュートラル  
へ向けてのEVの役割

日時：2021年2月8日(月) 10:00~12:30  
開催：インド大使館商務部  
オンライン円卓会議「予算2021-インドの投資・ビジネス機会」

有馬 仁志  
一般社団法人電気自動車普及協会 理事

APEV 有馬 理事

4)最後に、モナ・カンダール氏が、オンラインラウンドテーブルへの参加の感謝のことばを述べられ、閉会しました。

(参考)

フェイスブックの大使館公式アカウントにて円卓会議の記事がアップロードされています。

<<https://www.facebook.com/IndiaInJapan/posts/5125492544187983>>

弊会では引き続き、会員を募集しております。お気軽に事務局までお問い合わせください。

●トップページ <https://www.apev.jp> ●入会ご案内ページ <https://www.apev.jp/entry/>

□正会員(企業向け):年会費 1口 10万円

□賛助会員(個人向け):年会費 1口 1万円

□特別会員(行政機関・官公庁・マスコミ関係者様向け):年会費 無料

★お問い合わせ先: 一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール  
TEL:050-3375-4937 FAX:050-3153-2686 E-mail:info@apev.jp